

平成 18 年 6 月 2 日



日本最大の学術電子ジャーナルアーカイブの実現 —大学図書館と連携して 610 万論文に—

国立情報学研究所（所長：坂内正夫（さかうち まさお）以下、NII）は、国立大学図書館協会と公私立大学図書館コンソーシアムと共同で、世界の主要な学術雑誌約 1,000 誌を創刊号に遡って電子化した 280 万論文のアーカイブを導入し、大学の研究者や学生に 6 月 2 日（金）から公開します。これにより、NII が従来から構築を進めてきた国内の電子ジャーナルアーカイブとあわせると、計 610 万件の電子論文を擁する日本最大の電子ジャーナルアーカイブを実現しました。このような知的情報基盤の実現によって、学術コミュニティの利便性と発展への貢献はもちろん、多くの歴史的な論文を含む、いわば人類の知の共有財産を広く利用することが可能となります。

電子ジャーナルアーカイブとは、学術雑誌に掲載された論文全体を電子化し、恒久的な保存と利用を可能とするものです。今回、新たに導入した電子ジャーナルアーカイブは、世界有数の学術出版社 Springer（シュプリンガー、ドイツ）および Oxford University Press（オックスフォード大学出版局、イギリス）の 2 社が刊行する学術雑誌を創刊号から全巻 1900 万ページ分を電子化したものです。最も古いものでは、1847 年に創刊された雑誌があり、人文・社会科学から理工学や生命科学に渡る幅広い分野の学術論文が利用できます。収録された論文には、学術的価値の高いものや歴史的に重要な多くの論文に加えて、我が国の偉大な先達が海外の学術雑誌に投稿した論文などが含まれています。

これらの電子ジャーナルアーカイブは、NII が提供する「電子ジャーナル・リポジトリ（貯蔵庫）：NII-REO」に掲載され、論文のタイトルや抄録は誰でもインターネットで検索することができます。また、図書館コンソーシアムに加入している大学からは、研究者や学生だけでなく、大学図書館の一般利用者也、論文の本文すべてを見ることができます。

【導入の背景と経緯】

2000 年以降、大学では電子ジャーナルの導入が急速に進み、学術雑誌などの最新の情報は、従来の冊子（紙）ではなく、電子ジャーナルで入手することが主流となっています。とくに IT 世代の学生の間では、インターネットで見つからない情報は存在しないものとする、といった風潮すら見られます。しかし、現在流通している電子ジャーナルの多くは 1990 年代後半から電子化されたものがほとんどです。そのため、創刊号まで遡って電子化し、過去から現在まで切れ目なく利用できるようにすることで、知の継続性を確保することが望まれています。今回の 2 大アーカイブの導入はその先駆けとなるものです。

また、冊子（紙）とは異なり、電子ジャーナルの利用には、ライセンス契約が必要です。契約の安定化と低コスト化を図るためには、一大学図書館での対応では限界があるため、組織を超えたコンソーシアムでの取り組みが実績をあげています。さらに、今回の NII と大学図書館コンソーシアムの連携による電子ジャーナルアーカイブの共同導入により、電子ジャーナルの安定的な利用や恒久的な保存を将来に渡って実現するための道を開くことが可能となりました。

【今後の展開】

今回の取り組みは、NII が大学等との連携により推進している最先端学術情報基盤（サイバー・サイエンス・インフラストラクチャー：CSI）の重要な柱として、研究者や大学・研究機関等が必要とする学術情報（コンテンツ）を NII と大学が共同で確保し、その安定的な提供と永続的な保存を保証することを目的とするものです。

引き続き、電子ジャーナルアーカイブの拡充を目指して、NII と大学の連携を強めていく

と同時に、今回の取り組みをひとつのステップとして、電子ブックなどの新たな学術情報も視野に入れて、最先端学術情報基盤の構築・整備を進めていきます。

【用語集】

- 図書館コンソーシアム：
複数の図書館が共同で、電子ジャーナル等の資料の購入や契約交渉を行うために組織される連合体。日本では、JANUL、PULC が代表的な例。
- JANUL：
国立大学図書館協会（Japan Association of National University Libraries）によるコンソーシアム。JANUL 内に設置された電子ジャーナル・タスクフォースが出版社との交渉等の窓口。
参加機関：国立大学図書館等 92 機関
会長：西郷和彦（東京大学附属図書館長）
電子ジャーナル・タスクフォース主査：土屋俊（千葉大学附属図書館長）
- PULC：
公立大学図書館コンソーシアム（Private and Public University Libraries Consortium）。私立大学及び公立大学の各図書館によるコンソーシアム。事務局と幹事校を中心に出版社との交渉、参加館の購読実態調査などを行なう。
参加機関：私立大学139校、公立大学10校、計149校(147法人)
幹事校：関西学院大学、関西大学、慶應義塾大学、東京慈恵会医科大学、同志社大学、法政大学、明治大学、立命館大学、早稲田大学(事務局)
- NII 電子ジャーナル・リポジトリ（NII-REO）
大学等へ安定的・継続的な電子ジャーナルの提供を行うために、NII が運用しているリポジトリ（貯蔵庫）。図書館コンソーシアムによる搭載の依頼と各出版社からの許諾に基づき、電子ジャーナルのアーカイブ等を搭載する。
公開 URL : <http://reo.nii.ac.jp/>
公開範囲 : 論文情報（簡略情報、抄録）の検索・表示：一般無料公開
論文本文（PDF）：上記図書館コンソーシアムの参加機関の利用者のみ
- Springer：
Springer Science+Business Media（シュプリンガー・サイエンス+ビジネス・メディア）。ドイツに本拠を置く、STM（科学・工学・医学）系の学術出版社。
年間 1,450 誌の学術雑誌、5,000 点以上の新刊書を出版し、学術雑誌では世界第二位規模、書籍ではトップクラスのシェアを有する。
- Oxford University Press：
オックスフォード大学出版局。
英国オックスフォード大学の一部局で、500 年以上の歴史を持つ世界最大の大学出版部。
年間 180 誌の学術雑誌、4,000 点以上の新刊書を発行している。

この件についてのお問合せ： 広報普及課 小野・早川

Tel: 03-4212-2135 E-mail: kouhou@nii.ac.jp

【出版社からのコメント】

◆シュプリンガー・サイエンス+ビジネス・メディア

「この度の国立情報学研究所 (NII) によるプロジェクトに参加できることは、私ども Springer Science+Business Media にとって、大変誇りと致すところです。

NII との緊密な協力により、この度、国立大学図書館コンソーシアム (JANUL) と公私立大学図書館コンソーシアム (PULC) の加盟図書館及びそのユーザーは、NII の信頼あるネットワークを通じて、1842 年にまで遡る Springer 社の約 200 万件に及ぶジャーナル・アーティクルにアクセスが可能となります。

NII, JANUL, PULC そして Springer の協力体制が、将来においてより豊かな実を結ぶであろうことを祈念する次第です。」

(原文)

"Springer Science+Business Media is very proud to support the activities of the NII and the JANUL and PULC consortia. Thanks to the excellent cooperation, the members and users of the two consortia now have limitless access to an archive of more than 2 million Springer and Kluwer journal articles going back as far as 1842. For JANUL and PULC users in Japan, this valuable Springer content is always accessible through NII's reliable network. I hope that the fruitful cooperation between NII, JANUL, PULC and Springer can be further expanded in the future."

-- Derk Haank (デレク・ハーンク), CEO, Springer Science+Business Media

◆ Springer Science+Business Media (www.springer.com) は、世界第二位規模の STM (科学・工学・医学) 出版グループと、ドイツ語圏最大の B to B (企業間取引) 出版グループを傘下に持つ世界トップレベルの科学・専門文献のサプライヤー。ヨーロッパ、USA、アジアの 20 以上の国に拠点を置き、約 5,000 人が従事する。傘下 70 の出版社によって出版されるジャーナルは、年間 1,450 誌、新刊書は 5,000 点以上にのぼる。2005 年の総売上は、約 836 mil. ユーロ。

お問い合わせ先：シュプリンガー・フェアラク東京 (株) 深田 良治 TEL:03-3812-0331

◆オックスフォード大学出版局

我々は、国立情報学研究所と国立大学図書館コンソーシアム (JANUL) および公私立大学図書館コンソーシアム (PULC) が、日本の研究者と学生のために、我々のアーカイブフルコレクションを提供する決定をされたことを嬉しく思います。オックスフォード・ジャーナルは、研究コミュニティが質の高い研究成果を出来る限り広く、そして容易に利用できるようになることを切望しています。当アーカイブの完成により、135年に及ぶ学術研究成果が最新のコンテンツを含めてすべて検索可能であり、現在オンラインで利用できます。そして、こうしたコンテンツは将来に渡って活用されるでしょう。

(原文)

"We are delighted that the NII and the JANUL and PULC consortia have chosen to provide the complete archive collection for researchers and students in Japan." commented Martin Richardson, Managing Director, Oxford Journals. He continued, "Oxford Journals aspires to make quality research as widely and easily available as possible to the research community. With the Oxford Journals Digitized Archive, over 135 years of scholarly research, fully searchable with current content, is now available online, and will remain so permanently for future generations".

--Martin Richardson (マーティン・リチャードソン), Managing Director, Oxford Journals, Oxford University Press

◆ オックスフォード大学出版局 (以下 OUP と略称) は、オックスフォード大学の一部局であり、500 年以上にわたり世界規模の出版活動によって研究、学術、教育の分野において、大学の高い目的を達成するために活動しております。OUP は年間に 4000 点以上の新刊書、180 タイトル以上の学術雑誌を出版する世界一の大学出版部で、世界の 50 を越える国々に拠点を設置しております。

お問い合わせ先：オックスフォード・ジャーナル、オックスフォード大学出版局
TEL:03-3813-146